

水着の女王 (1949)

NEPTUNE'S DAUGHTER

メディア 映画

ジャンル ミュージカル コメディ

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 93分

初公開日 1952/05/24

公開情報 MGM

【解説】

同じスケルトンの共演した「世紀の女王」(44)とあまり区別のつかない(日本公開は同年)、E・ウィリアムス主演の水中レビュー映画。あちらは水泳教師のウィリアムスが作曲家のスケルトンと恋するお話。こちらのエスター嬢は水着会社の若き女社長で、恋のお相手は初め、やはり彼女との共演の多いモンタルバンの水球チームのキャプテンだったのが、いつの間にやらスケルトンのチーム専属マッサージ師になっているという、彼のワンパターンのあまりに笑えぬ笑芸の詰まった一篇。水着のファッション・ショウの場面は派手だが、肝心のレビューには冴えがない。主題歌のフランク・レッサー作曲の『ベイビー、外は寒いよ』はアカデミー賞を取り、このシーンの演出(エスターとリカルド、レッドとB・ギャレットが違う場所でかけあいで唄う)には工夫があった。

【クレジット】

監督	エドワード・バゼル	Edward Buzzell	
製作	ジャック・カミングス	Jack Cummings	
脚本	ドロシー・キングスレイ	Dorothy Kingsley	
撮影	チャールズ・ロッシュャー	Charles Rosher	
作詞	フランク・ローサー	Frank Loesser	
作曲	フランク・ローサー	Frank Loesser	
音楽	ジョージ・ストール	George Stoll	
出演	エスター・ウィリアムズ	Esther Williams	イヴ・バレット
	レッド・スケルトン	Red Skelton	ジャック・スプラット
	リカルド・モンタルバン	Ricardo Montalban	ホセ・オルーク
	キーナン・ウィン	Keenan Wynn	ジョー・バケット
	ベティ・ギャレット	Betty Garrett	ベティ・バレット
	テッド・デ・コルシア	Ted De Corsia	ルーク
	ザヴィエル・クーガ	Xavier Cugat	ザヴィエル・クーガ
	マイク・マズルキ	Mike Mazurki	
	メル・ブランク	Mel Blanc	
	フランク・ミッチェル		